



ひょうこの景観ビュースポット150選（宝塚大橋南詰）

兵庫県 阪神北県民局 宝塚土木事務所

「支える」三田西インター線

事業の概要

三田西インター線は、国道176号と舞鶴若狭自動車道三田西ICを連絡する主要幹線道路です。しかしながら、全4.4kmの内、国道176号から広野前交差点までの0.8kmは幅員が狭い1車線の道路であり、主要幹線道路としての機能が十分に発揮されていない状況にあります。

そのため、国道176号から溝口交差点までの0.9kmのバイパス道路を整備しています。



事業の必要性

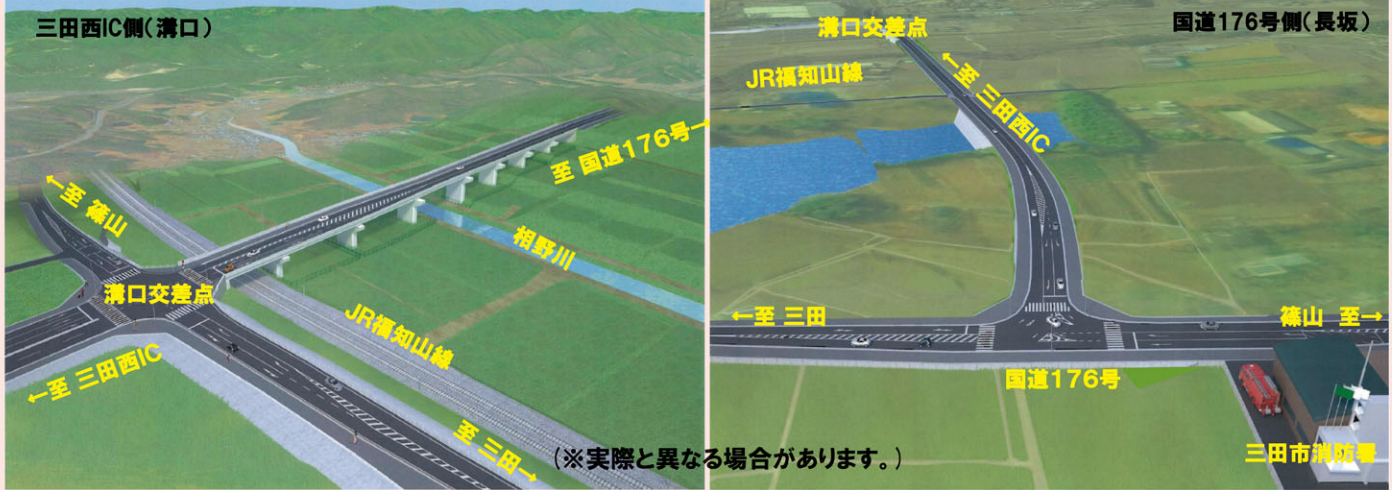
三田西インター線は、阪神間の南北の主要幹線である国道176号と高速道路へのアクセス向上を図るために整備をおこないます。



国道176号から三田西IC方面と結ぶ県道の現状

事業の完成イメージ

2車線化及びJR福知山線との立体交差させ、大型車等の高速道路へのアクセス向上を図ります。



【問い合わせ】 三田業務所道路担当 Tel 079(562)8880 Fax 079(562)8243

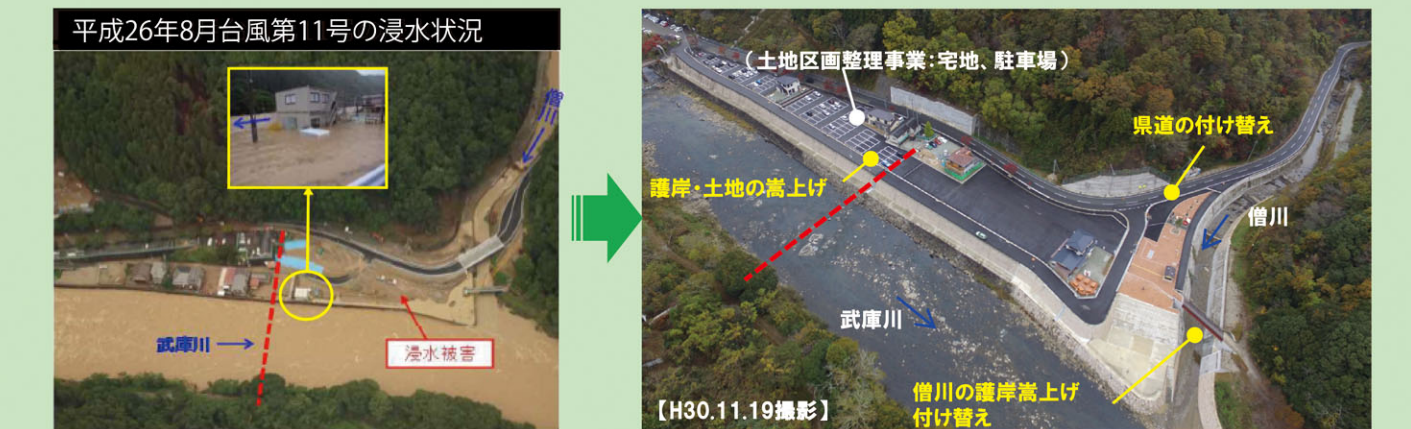
宝塚土木事務所の社会基盤整備

宝塚土木事務所では、社会基盤整備の基本的な考え方である①自然災害に「備える」、②日々の暮らしを「支える」、③次世代に持続的な発展を「つなぐ」の3つの視点に基づき、緊急かつ重要な取り組みを推進しています。

「備える」 ～自然災害に備える 防災・減災対策の強化～	近年多発している局地的豪雨による水害に備えるために、河川改修などの河川対策を推進しています。 ・河川（武庫川、猪名川）対策……………P.1 ・土砂災害対策……………P.2～3
「支える」 ～日常生活や地域を支える 生活基盤の充実～	日々の地域の交流を支える道路渋滞対策や踏切安全対策などを推進しています。 ・三田西インター線……………P.4 ・良好な市街地の形成や都市の健全な発展を図るため、街路網整備を推進しています。 ・尼崎宝塚線（小浜南）……………P.5
「つなぐ」 ～次世代につなぐ 社会基盤の形成～	社会基盤施設の老朽化の割合が急増することを踏まえ、適時適切な修繕・更新により、総コストの低減と予算の平準化を図るため、計画的・効率的に老朽化対策を推進しています。 ・青野ダム……………P.6

「備える」武庫川

武庫川 武庫川中流部の武田尾宅地区は、流下能力が低く、昭和58年、平成11年、16年、26年と度重なる被害に見舞われました。このような中、住民の安心な生活環境を確保するため、平成29年度に護岸・土地の嵩上げを実施しました。本改修により、平成30年7月豪雨においては、安全に流下させることができました。

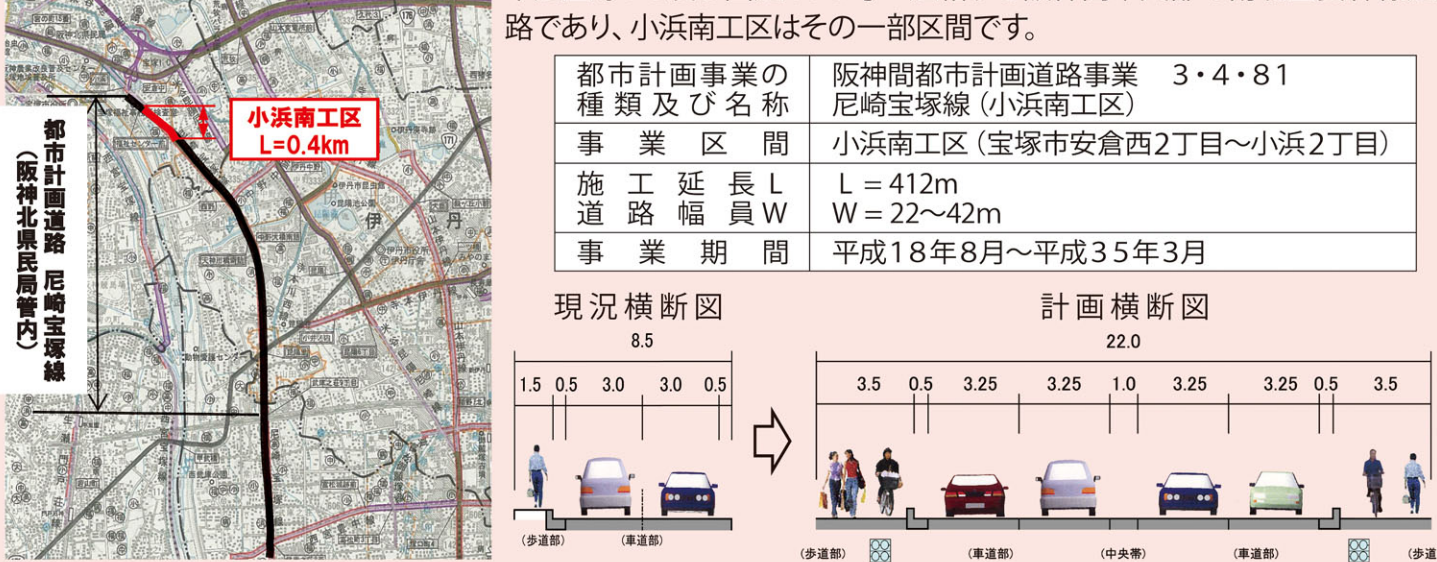


猪名川 川西市銀橋上流においては、昭和42年、58年、平成16年と過去より幾度も浸水被害に見舞われました。本地域の浸水被害を防止するため、H29年度には、銀橋下流の岩岸勝を保ちつつ、河積拡大のため岩掘削工事を実施し、また川西市多田院西の県道川西篠山線の嵩上げ工事を実施しました。本改修により、平成30年7月豪雨においては、安全に流下させることができました。



「支える」尼崎宝塚線（小浜南）

事業の概要



事業の必要性

尼崎宝塚線は、阪神間の南北の主要幹線である国道43号、阪神高速神戸線、大阪湾岸線からの交通や周辺市街地からの発生交通による慢性的な渋滞に対処するために整備を行います。

事業の完成イメージ

4車線化及び宝塚IC立体化を進め、慢性的な渋滞の解消を図ります。



日々の生活を「支える」～道路パトロール～

宝塚土木事務所では、皆さんが利用する道路の異常や破損に起因する事故の発生を未然に防ぐため、管内の道路のパトロールを毎日実施しています。

パトロール中、ガードレールや路面、側溝等の異常を発見した際は、必要な応急処置や安全対策を行い、安心して通行できる状態へ復旧します。

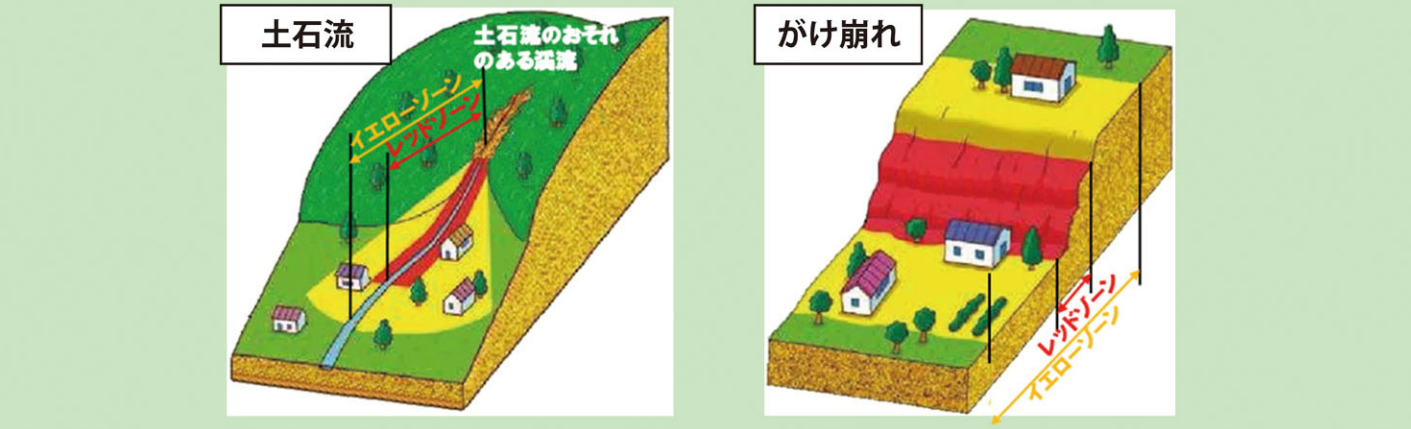
【問い合わせ】 道路第2課 Tel 0797(83)3207 Fax 0797(86)4329

「備える」～土砂災害から身を守るために～

「イエローゾーン」「レッドゾーン」って何だろう？

宝塚土木事務所では、土砂災害から人命及び身体を保護するため、土砂災害の発生するおそれのある区域を「土砂災害警戒区域（通称：「イエローゾーン」）」に指定しています。

「イエローゾーン」のうち、特に危険な区域を「土砂災害特別警戒区域（通称：「レッドゾーン」）」として現在、指定を進めています。「レッドゾーン」では、一定の開発行為が制限され、また新たに建築・増築する際に、建物の構造が規制されます。



土砂流対策	対策工事を進めています	斜面对策
流れてきた土石等、砂防えん堤の上流に貯め込み、土石等の流下を防止します。 【工事箇所】 塩谷川本川（宝塚市伊志志） 布木川（三田市布木）	砂防えん堤 塩谷川本川（宝塚市伊志志）	崩れてきた土砂や石をコンクリート擁壁や欄で食い止めます。 【工事箇所】 川西市加茂地区 落石防護欄（宝塚玉瀬テイスリ）

土砂災害のおそれがある場所はどこでしょう？

「イエローゾーン」、「レッドゾーン」は、以下の方法で確認できます。

○ホームページで調べる。
URL：http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/



「つなぐ」青野ダム

青野ダムの概要

青野ダムは武庫川沿川の洪水対策と、北摂・北神地域の水道水源の確保を目的として、昭和63年に完成しました。ダムの建設によってできた千丈寺湖は、県下で最大の面積を誇ります。現在、三田市街地などの上水道用水として、1日に87,400m³の水道用水を供給しています。洪水時には一時的に水を貯め、下流に流れる水の量を減らす（毎秒100m³）ことで、水害から下流域を護ります。

また、生物に優しい環境を創り出すとともに、生態系回復のため多自然型魚道を整備しています。



ダム管理制御設備の更新

ダム管理所では、情報表示盤やゲートの遠隔操作機器などのダム管理制御設備が設置されており、ダムの貯水位や上下流の雨量、水位などが一目でわかるようになっています。

現在、ダムの建設から約30年が経ち、設備等の随時更新を行います。

インフォメーション

ダム管理所では、平日の9時から17時までの間、来所された方を対象にダムカードを配布しています。また、ダム管理所の横にありますダムサイト公園では、噴水やベンチを整備しています。青野ダムに来た際は、是非足を運んでみて下さい。

【問い合わせ】 三田業務所河川砂防担当 Tel 079(562)8882 Fax 079(562)8243

土砂災害ってどんな種類があるのですか？



私たちにできることは何だろう？

土砂災害から身を守るには、「日頃の備え」と「早めの避難」が大切です。

【日頃の備え】

- 避難場所を家族で決めておく
- 気象情報に注意する
- 非常持ち出し品を用意する

【早めの避難】

○こんな時は避難をしてください

1. 市町が自主避難を呼びかけたとき。
2. 前兆現象を発見したとき。
3. 近くで土砂災害が発生したとき。
4. これまでに経験したことのない雨を感じた時。

○万一、避難所に行けない時は？

1. 近くの鉄筋コンクリートの建物に逃げる。
2. それも無理なときは、2階以上のけがら遠い部屋に避難する。

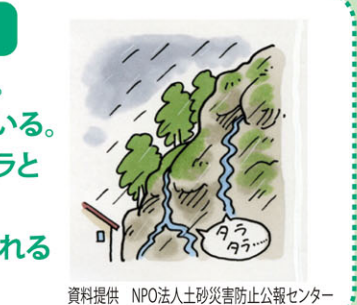
土石流の前兆

1. 山鳴りがする。
2. 急に川の流れがにぎり、流木が混じっている。
3. 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
4. 腐った土のおいがする。



かけ崩れの前兆

1. がけに割れ目が見える。
2. がけから水が湧き出ている。
3. がけから小石がバラバラと落ちてくる。
4. がけから木の根等の切れる音がする。



【問い合わせ】 河川砂防課 Tel 0797(83)3188, 3189 Fax 0797(86)3189

宝塚土木事務所の水防態勢について

洪水などの災害の恐れがあるときは、状況に応じて必要な人員を配備した水防非常配備態勢に入り、雨量情報や河川の水位情報などを収集します。

水位が上昇し、洪水の危険性が高まると、市町などの防災関係機関に対し水防活動を要請する「水防警報」の発令などの情報伝達を行います。また、状況に応じて出動し、水防活動を行います。

日頃から大雨や台風の際に備え、県では市町や消防などの関係機関と一緒に水防連絡会の開催・水防訓練の実施・防災パトロールの実施等を行っています。



水防非常配備態勢での水位情報の収集（演習中） 平成30年7月豪雨での現場作業

【問い合わせ】 管理第2課 Tel 0797(83)3203 Fax 0797(86)4329

県民まちなみ緑化事業について

兵庫県では、都市における環境の改善や防災性の向上等を目的とし、県民緑税を活用した「県民まちなみ緑化事業」を実施し、県民のみなさんによる植樹や芝生化などの緑化活動に対して補助を行っています。

県民のみなさんには、樹木などの植栽や芝張り、その後の維持管理を行っていただきます。

一般緑化や校園庭・ひろばの芝生化のほか、屋上・壁面緑化、駐車場の芝生化などのメニューもあります。

また、花苗、苗木、肥料などの提供を希望する緑化団体等への緑化資材の提供や県花のじぎくの群生地づくり、普及のため、緑化団体へののじぎくの苗の提供などもしています。



校園庭の芝生化

一般緑化

【問い合わせ】 まちづくり建築課 Tel 0797(83)3191 Fax 0797(86)4329